

視聴覚教育

NO. 393

発行日

25. 6. 27

発行

岡崎市AVL

編集

現職研修委員会

学習情報部

視聴覚用語 『LTE』

「Long Term Evolution」の略称で、現在普及しつつある携帯情報端末の通信規格である。下り方向で 100Mbps 以上、上り方向で 50Mbps 以上の通信速度をもち、家庭における光ファイバーと同等の通信速度が期待できる。

「根幹」を育てることの大切さ

学習情報指導員 川本 祐二

四月末に東京で行われた「タブレット端末活用セミナー」（日本教育工学振興会主催）は、全国からの参加者が四五〇名を数え、その盛況ぶりが強く印象に残った。その中で私が注目したのは、授業場面におけるタブレット端末の用途と学習効果である。中でも、鳥取県のある中学校の実践に着目した。その理科教師は、最新の ICT を活用した実践を得意として知られる存在だが、実践発表の中で意外な発言をした。「自分は、むしろアナログ的なツールを利用したコミュニケーションを重視している」と。

この教師の実践では、年度始めにホワイトボードを活用して、グループでの課題解決や話し合い、発表のスキルを高める経験を積ませる。ホワイトボードは、自分たちの予想や意見を箇条書きにしたり、ランキングを付けたりして、他グループに提示するには簡単便利この上ないツールであり、子供たちにとって「考えを練り合う場」としての機能を果たしている。ホワイトボードを媒介としたコミュニケーションができるようになってから、タブレット端末を

使わせることが重要だという。

確かにタブレット端末は、できることの幅が圧倒的に広い。しかし、根幹をなす意思疎通の能力や学習スキルがなければ、タブレット端末を使わせたとしても、その有効活用は望めない。それは、タブレット端末自体が、意思疎通の能力を高めてくれるわけではないからである。

ICT は、いわば「増幅装置」のようなものだと言える。ホワイトボードを使いこなして意思疎通のできる子供たちがタブレット端末を使えば、協働学習やプレゼンテーションなどの学び合いができるであろう。そのためには、やはり「根幹」をしっかり育てておく必要がある。

さて、その「増幅装置」によって、負の効果が生まれる場合もある。それが、年々深刻化している情報モラルの問題である。すなわち、日常的な倫理観や道徳心が未熟なまま子供たちが携帯情報端末を手にしたとき、ネットいじめや出会い系サイトに関わったさまざまな問題が起きると考えられる。

私たち教師は、子供たちの「根幹」を育て、ICT を真に有効なツールとして活用できる子供を育てることに注力しなければならない。

II 視聴覚教育あれこれ II ●第9回「育て！プリント」の結果

「コミュニケーションひろば」の結果
第9回 「育て！プリントコミュニケーションひろば」（主催・理想教育財団）に昨年度も市内の先生方がたくさん応募されました。入賞、入選されたのは次の方々です。おめでとうございませう。
（学校名は平成24年度勤務校）

【最優秀賞・理想教育財団賞】

浅井 優子（三島小）

【部門別優良賞】

高木 理人（本宿小）

【佳作】

井上 義丸（六中小）

西脇 ゆうみ（六中小）

青山 絢香（六中小）

齋藤 公子（梅園小）

●第39回（平成25年度）

パナソニック教育財団 実践研究助成

「実践研究助成」は、ICT を効果的に活用し、教育課題の改善に取り組む実践的な研究計画について助成されるものです。今年度の岡崎市における実践研究助成先は次のとおりです。

【特別研究指定校】

葵中学校

学び合い・磨き合いを軸にした

思考力・判断力・表現力の育成
— ICT の幅広い活用法と生徒が自ら求めて ICT を活用する場の追究 —

【一般】

六ツ美中部小学校

明るい未来をひらく六ツ美中部の子の育成

本宿小学校

生きる力を育む小学校英語の創造

羽根小学校

子どもたちの体力向上を図る ICT の活用
— 「羽根っ子チャレンジ」の実践 —

実践報告Ⅱ 「責任をもって情報を発信しよう」

美合小学校 三浦 良見

総務省の通信利用動向調査によると、日本のネット人口は約一億人とされており、子供の身近な場所にネットは存在している。子供が情報社会のよりよい担い手となるために、ネット利用上の留意点を理解させたいと考え、本実践を行った。今回利用した「事例で学ぶNetモラル」の内容は、ネット上に書き込んだ情報が間違っていたせいで、多くの人を困らせてしまうというものがある。視聴後、「ネット上に書き込むときにどうすればよかったのか」と尋ねると、「ネットを使わない」や「間違えました」と書きこむ」などの意見が出た。そこで、ネット人口の話をし、これからの生活で全くインターネットを使わずに生活することは難しいことや、クリップ映像を見ながら、一度書き込んだ情報は「間違えた」といってもすべてを消すことは困難で、広がってしまふことを伝えた。



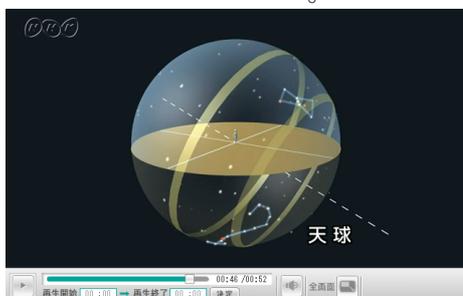
子供の感想を見ると、「ネットは便利だけど、使い方に気を付けないといけないことが分かった」という感想や「正しく情報を発信しないといけないことが分かった」という感想などが見られた。子供たちは本実践で「情報を正しく扱うことや情報の発信に責任をもつことの大切さ」についてよく理解できたと思う。

レッツ・トライⅡ 「NHKデジタル教材」の活用

理科の授業では、普段子供たちが目にすることができなかったり、スケールが大きすぎて理解しづらかったりする対象を扱う場面がある。そんな時、「NHKデジタル教材」の映像クリップが有効である。

例えば「季節と生き物」の学習で、昆虫が地中で幼虫からさなぎへと成長していく様子は実際にはなかなか見ることができないが、NHKデジタル教材を使えばこれを映像で確認することができる。また、植物が芽吹いてから若葉に生長するまでの様子も早送りされた動画で見ることができ、このように、生き物の成長過程を短時間で視覚的にとらえることができるため、効果的な学習が可能になる。「星の動き」の学習では、空全体の星の動きや北極星が動かない理由、季節によって見える星座が異なる理由などを、映像を通して確認できる。

授業において、観察や実験が困難なときは、豊富なコンテンツがそろっているNHKデジタル教材を有効に活用したい。



（豊富小学校 学習情報主任 中根 聡）

ライブブライデー

●平成25年度「親子映画会」のお知らせ

〈上映日と会場〉

・7月21日（日）

矢作市民センター 大平市民センター

・7月28日（日）

東部市民センター 中央市民センター

・8月4日（日）

南部市民センター（シビックセンター内）
ぬかた会館

・8月18日（日）

岩津市民センター 六ツ美市民センター

〈上映時間〉

・午前の部 10時～11時30分

・午後の部 13時30分～15時

〈上映映画〉

- ・がんばれスイミー
- ・じごくのそうべえ
- ・忍たま乱太郎（あたたかい心でしんせつにする）
- ・ちびまる子ちゃん（まるちゃん社会見学に行く）
- ・MOTTAI NA もったいない
- ・はむこ参る

※右の中の三作品を上映します。

●「ビデオ講習会」のお知らせ

〈日程〉7月27日（土） 9時～16時30分

〈場所〉福祉会館6F

〈内容〉ビデオカメラでの基本的な撮影実習

撮影した素材の編集実習など

※詳しくは岡崎市視聴覚ライブライリー

（電話23-6789）まで

